

## 大阪大学核物理研究センター研究計画検討専門委員会議事録

日時：令和5年4月17日（金）13:00 - 19:00

場所：大阪大学核物理研究センター本館2階会議室とZOOMを利用したハイブリッド会議

## 出席者

- センター長：中野貴志
- 委員：銭廣（京大）、小沢（KEK）、坂口(九大)、三輪(東北大)、鈴木(理研)、松田(甲南大)、本多(KEK)、今井（CNS）、前田（宮崎大）、堀内（大阪公大）、宇都野（原研）、緒方(九大)、金田(京大)、兵藤（都立大）、田島（名大）、田島（京大）、後藤（新潟大）、渡辺（理研）、西尾（原研）、佐久間（理研）、青井（RCNP）、民井（RCNP）、大田（RCNP）、福田（RCNP）、神田（RCNP）、吉田(RCNP)、石川(RCNP)
- 研究会・プロジェクト申請：保坂(RCNP)、土手(KEK)、川畑(阪大理・RCNP)、中務（筑波大）、大石(京大)、清水(名大)、郡司(CNS)、小林(RCNP)、大田(RCNP)
- オブザーバー：梅原（RCNP）

## 令和5年度研計委役員選出

- 委員の互選により、委員長として小沢恭一郎氏、幹事（所外）として鈴木大介氏が選出された。
- P-PACの補充委員について、センター長推薦があり、吉田賢市氏、石川貴嗣氏を委員とすることになった。
- B-PAC委員について、P-PAC委員から鈴木大介氏、松田洋平氏を選出し、そのほかの交代委員についてはセンター長・委員長の推薦とすることになった。
- Q-PAC委員について、令和4年度委員を引き続き推薦することとなった

## 報告事項

## (1) 一般報告（センター長）

センター長より以下の事項について報告があった

- 特任助教人事1名の決定されたこと。
- 特任助教（若干名）の進捗について。
- 令和4年5月の変更申請分が3月13日に認められたこと。
- 4月から共同利用実験が再開されたこと、ならびに、ビームタイム割当が原則B-PACで採択された順番に、ただし効率的に行われること。

- 新棟新築の業者が不落随契によって決定されたこと。
- 新規概算要求として東北大学の申請に連携機関として協力する予定であること。もう一件、東北大学との協力の可能性があること。

#### ( 2 ) CoreNET 報告 ( 保坂 )

- CoreNET の概要についての説明があった。
- これまでの採択状況についての報告があった。
- 審査方法についての確認、依頼があった。

#### ( 3 ) 加速器報告 ( 福田 )

- 加速器の現状と今後のビームタイムスケジュールの報告があった
- 今後のビーム提供についての予定が報告された。予定については以下の通り。
  - 6月リング通常/AVF
  - 7月リング低電力/AVF
  - 8月メンテナンス
  - 9月中旬以降リング通常/AVF
- ひきつづき次の変更申請が準備される

#### ( 4 ) ビームタイム割当状況 ( 青井 )

- 積み残しビームタイムの現状についての説明があり、A+, A, Bを含めて 209 日が ( 研計委開催時点において ) 存在する。
- 実験者への協力要請として、条件が許す限り最大強度のビームを使うこと、ならびにビーム強度が増えた場合には状況に応じて実験日数を縮めることが挙げられた。
  - ただし、事前の短縮は行わず、実験の進行状況をみながら協議する。
- 令和5年度の割当方針が示された
  - アップグレード後特有の象徴的な実験は行わないこと
  - 原則として採択順に、ただしセットアップが共有のものなど効率を優先すること、プロジェクトについては優先順位があがること
  - 割当については研計委にて報告すること
  - ビーム開発などは実験に合わせて行うこと
- 直近の大まかな割当予定が示された。

- ビーム強度増大に合わせて、効率的なデータ収集系の貸出があることが報告された。
- 今後の B-PAC の開催予定について、必要に応じてメール審議することで合意された。現状では未定。

( 5 ) 一般会計 ( 青井 )

- 令和 5 年度の報告があった。
- 予算については 6 月に議論する。

( 6 ) Q-PAC 報告 ( 佐久間 )

- 各プロジェクト・テスト実験からの報告ならびにそれらに対する Q-PAC からの答申についての報告があった
- 次回は 8 月 8 日を候補日として開催予定である

( 7 ) 研究会報告 ( 大田 )

令和 4 年度に開催された以下の研究会について報告があった。

- 原子核実験の先端データ収集システム - 標準化と将来 -
- RCNP workshop on Hadron Physics at the LEPS2 photon beamline
- RCNP Workshop on Physics on Baryon number and Lepton number using Nuclei
- Third International Workshop on the Extension Project for the J-PARC Hadron Experimental Facility (3rd J-PARC HEF-ex WS)
- The 2nd RCNP Workshop on Fundamental Physics Using Reactors (FPUR-II)
- 3rd PANDORA Workshop

審議事項

( 1 ) 国際共共プロジェクト・カテゴリー 1 審査

- 提案者の Daniel Bazin 氏よりプロジェクト申請「AT-TPC campaign at RCNP EN beamline」についての説明があった
- 大型装置を用いる一連のビームタイムをキャンペーンとして効率的な運用を行うことは評価に値する。
- それぞれの物理のビームタイムはすでに B-PAC で採択されており、その意義をあらためて議論するものではない。

- 一方で新しく申請された2日間の詳細と準備・撤去を含み想定されるビームラインの占有日数については不透明であるため、追加の説明資料を求めることとした。
- 追加資料をもとにメールにて継続審議とする。
- ビームラインを占有し、多くのビームタイムが割り振られることになるため、この申請に含まれない他の採択済みビームタイムについて著しい不利益が発生しないよう、RCNP が配慮することを求める。

## ( 2 ) 研究会審査

13 件の申請に対して審査が行われた。令和5年度に開催する12件の研究会を採択することとした。予算の最終採択額について、センター長と協議の上、決定することとした。

- Nagoya Workshop on Exotic Hadrons
- 第3回研究用原子炉を用いた原子核素粒子物理学
- The 1st IReNA-Ukakuren Joint Workshop “Advancing Professional Development in Nuclear Astrophysics and Beyond ”
- Workshop on Signal Processing And Data acquisition Infrastructure
- 対相関から対凝縮相への微視的アプローチ
- 原子核におけるスピン自由度の織り成すダイナミクス
- データ収集系実践ワークショップ
- Workshop on Nuclear Cluster Physics (WNCP2023)
- 原子核談話会 創立70周年記念シンポジウム「原子核物理学の昨日・今日・明日」
- SNP School 2023 (International School for Strangeness Nuclear Physics 2023)
- Streaming Readout workshop (SRO) XI
- J-PARC Hadron 2023 (International workshop on J-PARC Hadron Physics 2023)

上記のうち、原子核談話会シンポジウムについては、通常の研究会枠とは異なり、別途予算を検討していただくことを要請することとなった。

令和6年度に開催する下記の1件については RCNP 研究会としての採択は認め、予算については令和6年度に改めて申請をすることを要請した。

- 22nd international conference on “Recent Progress of Many-Body Theories” (RPMBT-22)

## ( 3 ) B-PAC のプロポーザルのページ制限について

時間の都合上、審議を次回 P-PAC に見送ることとなった

## ( 4 ) RCNP 次期計画について

時間の都合上、審議を次回 P-PAC に見送ることとなった

( 5 ) 前回議事録承認

令和4年1月13日開催分の議事録が承認された

次回開催予定

令和5年9月ごろを予定する

その他

- 研究会申請書の様式に関して意見があった。次回P-PACにて新様式に関して議論する。